

平成28年度 第1回呉市地域公共交通協議会

- 議 事 要 旨 -

日 時：平成28年8月24日（水）10時00分～11時10分
場 所：呉市役所本庁舎7階 754会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

- 議案第1号 平成27年度事業報告及び歳入歳出決算について 【資料1, 資料8】
議案第2号 平成28年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について 【資料2】
議案第3号 警固屋地区乗合タクシー「おでかけバス」の運賃改定について（案）【資料3】
議案第4号 吉浦地区乗合タクシーの増車に係る移動円滑化基準適用除外認定
申請について（案）【資料4】
議案第5号 呉市地域公共交通協議会規約の一部改正について（案） 【資料5】

4 報 告

- ・エアポートバス「呉広島空港線」の利用状況について 【資料6】
- ・呉市地域公共交通網形成計画（仮称）の策定について 【資料7】
- ・「下蒲刈地区の生活バスの運賃改定後の状況について」及び
「川尻地区生活バスのうぐいすライン系統廃止後の状況について」 【資料9】

5 そ の 他

6 閉 会



(1) 平成27年度事業報告及び歳入歳出決算について

発言者	発言要旨
■資料1、資料8について、事務局より説明	
副会長	質疑等があればお願いします。無いようなので、本件については承認されたこととして異議はないか。
一 同	異議なし

(2) 平成28年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について

発言者	発言要旨
■資料2について、事務局より説明	
副会長	質疑等があればお願いします。
委員	エアポートバスについては、近い将来採算がとれるようになるのか。いつまで補助を続けていくのか。
事務局	理想としては、独立採算路線となることであり、それを目指してPR活動等に取り組んでいる。現在、1便あたりの平均乗車人数が10人程度であるが、これが13、14人となれば、補助の必要がなくなると考えている。
委員	採算がとれる見込みがあるのなら、いいと思う。
副会長	呉市が国内で知られるためには、エアポートバスがあることも含め、情報発信していくことは非常に重要なことである。
委員	「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」については、国の予算上限額を上回る見込みであると聞いているが、別の補助メニューが活用できるのか。
委員	全国的にノンステップバスの購入補助金の枠が非常に厳しくなっている。今後はインバウンド関連で車両購入補助が創設されているので、そちらに振り替えていく方向で整理している。ここに記載されている「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」のメニューの活用ではなくなると思われる。
事務局	それでは、事業計画（案）について、表記されている「地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用した事業展開」という名称を「国の補助メニューを活用した事業展開」と訂正させていただくということによろしいか。
副会長	質疑等があればお願いします。無いようなので、本件については承認されたこととして異議はないか。
一 同	異議なし

(3) 警固屋地区乗合タクシー「おでかけバス」の運賃改定について（案）

発言者	発言要旨
■資料3について、事務局より説明	
副会長	質疑等があればお願いします。 警固屋地区の人口は減少しているのか。人口が減れば乗車人数も当然減ってくると思うがどうか。
事務局	平成24年度は5,256人、平成25年度5,165人、平成26年度5,034人、平成27年度4,888人と呉市全体の人口減少傾向と同じく減ってきており、ついに5千人

	を下回っている。必然的に利用者が減ってくる。
副会長	運賃収入が減ってくる中で、運賃は値上げせざるを得ないと思う。こういう実情から警固屋地区乗合タクシー運行協議会から申し出があったものである。
副会長	ほかに質疑等があれば願います。無いようなので、本件については承認されたこととして異議はないか。
一同	異議なし

(4) 吉浦地区乗合タクシーの増車に係る移動円滑化基準適用除外認定申請について（案）

発言者	発言要旨
■資料4について、事務局より説明	
副会長	質疑等があれば願います。
副会長	質疑等が無いようなので、本件については承認されたこととして異議はないか。
一同	異議なし

(5) 呉市地域公共交通協議会規約の一部改正について（案）

発言者	発言要旨
■資料5について、事務局より説明	
副会長	質疑等があれば願います。
副会長	質疑等が無いようなので、本件については承認されたこととして異議はないか。
一同	異議なし

- 報告 -

エアポートバス「呉広島空港線」の利用状況について

発言者	発言要旨
■資料6について、事務局より説明	
副会長	質疑等があれば願います。
委員	利用者が増えているということであるが、どういう利用目的が多いのか。また先ほどPRの重要性についても話があったが、今後どのように取り組んでいくのか。
事務局	空港バスの利用者の増加した要因については詳しい分析はしていない。利用が多い時間帯は朝夕の便が多くなっている。市内のビジネス客については、呉商工会議所などを通じてある程度PRできていると思う。今後は観光客をターゲットとしていきたい。この4月に呉市は日本遺産に認定されたので、情報発信していきたい。またインバウンド（外国人旅行者）や、呉市の島しょ部などを目指してくるサイクリング客などに対しても、観光振興課と一緒に取り組んでいきたい。
委員	バス協会では、外国人向けのフリーチケットを販売している。ほとんどの高速バス路線が1日3,000円で利用できるというものである。これを今後空港リムジンについても広げることで、利用促進につなげていきたいと考えている。

呉市地域公共交通網形成計画（仮称）の策定について

発言者	発言要旨
■資料7について、事務局より説明	

副会長	質疑等があればお願いします。
委員	平成 30 年度までに策定とあるが、現時点でどのようなスケジュールなのか。
事務局	きっちりとした計画はまだ決まっていない。今年度はいくつかの地域と協議していき、来年度には残りの地域についても協議していく、それらを踏まえた上で方針を定めて皆さんにお諮りしたい。平成 30 年度には立地適正化計画との整合性も図りながら計画を策定したい。
委員	各自治体で地域公共交通網形成計画を策定する動きが活発になってきている。ただ、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の趣旨に従って計画を作っただけとなるのではなく、各地域の実態を反映させたネットワーク作りをされるのであれば、最終的に地域公共交通再編実施計画を策定し、網形成計画に盛り込まれた内容が実施していけるようしていただきたい。 早い段階で再編実施計画の策定を見据えた計画を示してほしい。
委員	ほかの自治体よりもじっくり時間をかけて計画を策定されるようだが、交通ネットワークを考える上でバスだけではなく、いろいろな交通モードを網羅していかなければならない。呉市は海上交通もあると思うが、どのように検討を進めているかと考えているのか。
事務局	これまで本協議会ではバスに関する議論が中心であった。計画策定していく中でこのほかにも JR、船も当然含まれてくる。大きな目標としては、たとえば齋島、三角島の航路についてそれぞれ高速艇とフェリーが運航している状況であるが、効率的な運航を実現するため再編できないか方策について検討していきたい。網形成計画の後には再編実施計画を策定し、実施に向けて取り組んでいきたい。
委員	呉市だけでなく、広域の交通ネットワークも含めて交通網を検討していく必要がある。他市町でも網形成計画を策定しているので、呉市で網形成計画を策定する前に他との整合性を図りながら策定してほしい。
副会長	次回の協議会では具体的なスケジュールが示されるものと思う。交通は、外食・通院など生活の至るところで生じてくる。交通を担う行政、事業者において、交通を維持していくためにはコストが必要なもので、何でもできるわけではない。そうした制約がある中、どうすれば望ましいネットワークができるのか、本協議会で協議していくことで、魅力あるまちづくりができればと思う。

「下蒲刈地区の生活バスの運賃改定後の状況について」及び

「川尻地区生活バスのうぐいすライン系統廃止後の状況について」

発言者	発言要旨
■資料 9 について、事務局より説明	
副会長	質疑等があればお願いします。
委員	このたびは運賃を値上げしたが、事業者の収支が上向いていないという説明であった。これから下蒲刈地区の地域の皆様と協議されていくということだが、可能であれば、行政の負担がどのようになっているのかも付け加えて説明していただきたい。敬老優待負担金で見れば事業者ベースでは減っているが、行政の負担は減っている。事業者の収支だけではなく、行政の負担の視点も必要である。

－ その他 －

発言者	発言要旨
副会長	他に何かあれば。無いようなので、これで閉会とさせていただきます。

